

一般社団法人

日本テレマン協会

2016年度活動報告書



Telemann Institute Japan

CONTENTS

4	TOPICS
5	日本テレマン協会について
5	日本テレマン協会について
5	テレマンとは
6	延原武春
7	テレマン室内オーケストラ
7	テレマン室内合唱団
8	公演記録
8	定期演奏会
10	マンスリーコンサート
13	教会音楽シリーズ
14	依頼公演について
15	学校公演について
16	広報活動について
17	社会的活動報告
18	年表
20	日本テレマン協会後援会について
20	役員名簿
20	年表
21	法人会員
21	個人会員
22	日本テレマン協会ディスコグラフィ



10月6日 第235回定期演奏会 公演風景



11月25日 浅井咲乃リサイタル リハーサル風景



6月21日 第471回マンスリーコンサート 公演風景



5月8日 KBH支援のためのチャリティーコンサート 公演風景



3月11日 東日本大震災追悼公演 リハーサル風景



4月19日 第469回マンスリーコンサート リハーサル風景



7月29日 浅井咲乃リサイタル 公演風景



2017年1月13日 第476回マンスリーコンサート 公演風景



2017年2月14日 第477回マンスリーコンサート リハーサル風景



11月20日 高田泰治リサイタル リハーサル風景



11月17日 シーボルト賞受賞式でのドイツ大統領御前演奏

TOPICS



定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズが決定

日本テレマン協会では、年間2回のペースで開催してまいりました大阪市中央公会堂での定期演奏会を4回に増やし、「中之島をウィーンに！」というタイトルでシリーズ化することが決定しました。中央公会堂中集会室の雰囲気がオーストリア国立図書館のホールに類似して

いることから、同図書館で18世紀にサロンコンサートを開催していたスヴィーテン男爵にスポットを当て、同男爵がコンサートで取り上げたバロック期から古典期に至る広範囲な作品群を取り上げる予定となっております。

古典鍵盤楽器奏者 高田泰治 平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞



当協会古典鍵盤楽器奏者の高田泰治が平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞いたしました。

同賞は創造的で奨励に値する芸術文化活動を通して、大阪文化の振興に貢献し、かつ将来の大阪文化を担うべき人材（個人または団体）に対し、大阪府が昭和58年度から贈呈している賞であり、「美術」「音楽」「演劇・舞踊」「大衆芸能」「文芸その他」の5部門からなり、受賞者は毎年5名以内で、概ね40歳以下となっております。受賞者は毎年12月ごろに発表され、贈呈式は毎年2月上旬ごろに大阪市中央公会堂で行われます。贈呈式では、受賞者による活動紹介と、これまでの受賞者数名による公演が行われ、一般に公開されています。

2002年、大阪音楽大学大学院をピアノで修了後、ベートーヴェンのチェロソナタ全曲演奏会で共演した当協会元首

席チェロ奏者上塚憲一氏に「クラシカル楽器で演奏したい」と言われたことがきっかけで、初めてフォルテピアノに触れ、高田の古典鍵盤楽器奏者としてのキャリアはスタートしました。また同年、神戸新聞松方ホールでテレマン室内オーケストラとの共演でピアノ、フォルテピアノ、チェンバロのそれぞれの協奏曲を一夜で演奏するという公演でデビューいたしました。

新聞の取材に対して高田は「鍵盤のタッチも幅も音色もピアノとは違って、最初は戸惑った。でも自分の表現したいことを自然にでき、おもしろくなった」「今回の受賞を機に、日本ではまだまだマイナーなチェンバロやフォルテピアノといった古典鍵盤楽器の魅力をもっと多くの人に知ってもらえるのがうれしい」と語っています。

【2016年度の高田泰治の活動】

- 7月 第233回定期演奏会に出演。ベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲第5番「皇帝」を演奏。
- 10月 第235回定期演奏会に出演。バッハ作曲ブランデンブルク協奏曲を演奏。
- 11月 シーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。
- 12月 バッハ作曲ゴルトベルク変奏曲のCDをリリース。定期演奏会などで同曲を演奏。
- 2017年
- 2月 平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。中央公会堂で開催された受賞式に出席。
- 3月 マンスリーコンサートにて咲くやこの花賞受賞記念リサイタルを開催。

日本テレマン協会 について

日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に50年以上活動し、これまでに文化庁

芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立45周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

音楽監督・CEO：延原武春
副代表：奥田博子
ヨーロッパ総局長：高野昭夫
古典鍵盤楽器奏者：高田泰治
ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃
首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース
エグゼクティブ・アドバイザー：永重史郎・和田誠一郎
オフィス・アドバイザー：奥田忠道
事務局長：今井 良
事務局：中田吉美・早田光子・坂口綾佳



テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でもあったようで、バッハの次男の名付け親

でもあり、また自身がハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」を指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ロンドンから様々な珍しい植物をヘンデルは彼宛に送っていたとか。またテレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていることも有名な話です。

バッハ、ヘンデルにとっては「偉大なる先輩」であったテレマン。彼の作品だけではなく、その心意気を伝えたい…それが私たちの使命でもあります。

1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後の多岐に嘱望されている。指揮者としてライブツィヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注がれた。1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツィヒで開催されたバハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては

唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドー等にも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュー、J.P. ランバル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセ等とも親しく交流することとなる。延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台としてテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマーテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『プロクセス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』9種類の異版を1年に一版ごとに取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラ



シカル楽器(古典派時代の楽器)で演奏。さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙げる。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年～

12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン：交響曲全曲シリーズを主催。「『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演」と『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないかと(評：故小石忠男/日本経済新聞9月30日夕刊)等と絶賛を博するなど一際大きな話題となった。また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番(第2楽章は初稿)はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う”一日だけのオーケストラ”としてorchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲 第4番を演

奏。その演奏はライブノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機となってこのオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。かつて、アーノンクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。

2016年、日本テレマン協会のCEOに就任。

テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンデイズをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003年にはドイ



ツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」(会場は大阪倶楽部4階ホール)を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウッラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

浅井咲乃 (ソロ・コンサートマスター)
三谷彩佳 (首席第2ヴァイオリン奏者)
姜 隆光 (首席ヴィオラ奏者)
曾田 健 (首席チェロ奏者)
橋本将紀 (首席コントラバス奏者)
高曲伸和 (アシスタント・コンダクター)

テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、1985年にはドイツで開催された「J.S. バッハ生誕300年記念国祭音楽祭」に招待され、現地新聞等で当時大きな評判となる。カトリック夙川教会に於ける「教会音楽シリーズ」は公演回数180回を数え、当合唱団にとっての最も大きな活躍の場となっている。これまでに、G.F. ヘンデル作曲「メサイア」の9種の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演したシリーズや、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、或いは、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、「延原武春の受難曲シリーズ」などを開催してきた。

松井義知 (団長)
パブロ・エスカンデ (ミュージックディレクター)
新井俊稀 (アシスタント・コンダクター)



公演記録

平成28年度の公演の合計は、事業計画時の102公演に対して、報告時には119公演となりました。主催公演は、マンスリーコンサートと教会音楽シリーズ

ズが計画時よりも1公演ずつ増え、計画時の28公演に対して報告時には30公演となりました。詳しい内訳は下の通りとなっております。

【計画時】

主催公演 28公演
 定期演奏会 9公演
 マンスリーコンサート 10公演
 教会音楽シリーズ 2公演
 その他 7公演
 依頼公演 74公演
 合計 102公演

【報告時】

主催公演 30公演
 定期演奏会 9公演
 マンスリーコンサート 11公演
 教会音楽シリーズ 3公演
 その他 7公演
 依頼公演 89公演
 合計 119公演

定期演奏会 Subscription Concert

第231回定期演奏会

～U. ブンディース&高田泰治～モーツァルトの「真相」

日時	2016年4月24日(日) 15時開演
会場	東京文化会館小ホール
曲目	W.A. モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ト長調 Kv9 ニ長調 Kv306 ヘ長調 Kv376 変ホ長調 Kv481
出演	ヴァイオリン：ウツラ・ブンディース フォルテピアノ：高田泰治
来場者数 備考	393名 首席客演コンサートマスターのU. ブンディース氏を招いての公演。古典鍵盤奏者 高田泰治との共演でW.A. モーツァルトのヴァイオリン・ソナタを数曲取り上げました。

第233回定期演奏会 ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」

日時	2016年7月19日(火) 19時開演
会場	大阪市中央公会堂中集會室
曲目	L.v. ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」 交響曲 第5番 ハ短調 op.67 「運命」
出演	指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ(クラシカル楽器使用)
来場者数 備考	487名 大阪市中央公会堂中集會室での公演。指揮者延原武春が古楽器によるベートーヴェンの交響曲全曲公演でドイツから受勲して以来は初めての「運命」の再演となりました。「皇帝」ではレプリカではなく、オリジナルのグレーバー社製のフォルテピアノを使用いたしました。

第232回定期演奏会 J.S. バッハ マルコ受難曲 BWV247

日時	2016年4月30日(土) 18時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S. バッハ：マルコ受難曲 BWV247
出演	指揮：延原武春 補筆完成・通奏低音：パブロ・エスカンデ 福音史家：新井俊稀 イエス：高曲伸和 ソプラノ：浅野純加・高津綾子 アルト：伊豆田佑香 テノール：鹿岡晃紀 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	302名 J.S. バッハの失われた名曲「マルコ受難曲」を、当協会ミュージック・アドヴァイザーのアルゼンチン人作曲家P. エスカンデ氏が当公演のために補筆完成。エスカンデ氏は、既存の版よりもバッハの意図をより忠実に再現。演奏に当たってはバロック楽器を使用いたしました。

第234回定期演奏会 高田泰治チェンバロ・リサイタル

音の系譜—初期バロックからバッハへの道程	
日時	2016年7月24日(日) 15時開演
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.J. フローベルガー トッカータ イ短調 FbW615 組曲 イ短調 FbW630 L. クープラン プレリュード イ短調 組曲 イ短調 J.S. バッハ：フランス風序曲 ロ短調 BWV831
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数 備考	371名 古典鍵盤楽器奏者高田泰治によるチェンバロのリサイタル。J.S. バッハがフランス風序曲を作曲するに至るまでの歴史的な道程をたどるようなプログラム構成でした。



第235回定期演奏会 J.S. バッハ ブランデンブルク協奏曲

日時	2016年10月6日(木) 19時開演
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲
出演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 ほか テレマン室内オーケストラ
来場者数	498名
備考	J.S. バッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲」全曲を演奏いたしました。名曲ながらまとめて聴く機会が極めて少ない当曲の全曲公演を、毎年聴けるようにする企画の3回目の公演となりました。演奏に当たってはモダン楽器を使用いたしました。

第236回定期演奏会

G.F. ヘンデル オラトリオ「メサイア」HWV56

日時	2016年11月3日(木・祝) 15時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G.F. ヘンデル：オラトリオ「メサイア」HWV56
出演	指揮：延原武春 ソプラノ：浅野純加・渡辺有香 アルト：塩見典子・葉谷佳苗 テノール：新井俊稀 バス：篠部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数	276名
備考	後期バロック時代の宗教曲を代表する作品であるヘンデル作曲オラトリオ「メサイア」を取り上げました。

第237回定期演奏会 独創のための独創—イタリア

—次代を見すえ、駆け抜けた美の旋風—

日時	2016年11月10日(木) 18時30分開演
会場	東京文化会館小ホール
曲目	G.B. ペルゴレージ 幕間劇「妹に恋した兄」序曲 P.D. パラディーゼ チェンバロ・ソナタ 第5番 へ長調 G. サンマルティーニ リコーダー協奏曲 へ長調 A. ヴィヴァルディ 歌劇「試練の中の真実」序曲 RV739 《四季》より「春」RV269 T. アルビノーニ オーボエ協奏曲 ト短調 op.9-3 A. ヴィヴァルディ ソプラニーノ・リコーダー協奏曲 RV443
出演	指揮・オーボエ：延原武春 リコーダー：北山 隆 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数	405名
備考	当協会創設者の一人であるリコーダー奏者の北山隆氏を招いて、パラディーゼやサンマルティーニといったイタリアのマイナーな作曲家の作品から、ヴィヴァルディの「四季」～「春」といった誰もが知る名曲まで、多彩な内容を取り上げました。

第238回定期演奏会

高田泰治チェンバロ・リサイタル ゴルトベルク変奏曲

日時	2016年12月2日(金) 18時30分開演
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻より 第1番 ハ長調 BWV846 ゴルトベルク変奏曲 BWV988
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	384名
備考	古典鍵盤楽器奏者高田泰治によるチェンバロ・リサイタル。同時期にリリースした新譜CDと同様の内容である、J.S. バッハ作曲ゴルトベルク変奏曲を取り上げました。

第239回定期演奏会 G.Ph. テレマン 食卓の音楽 第3集

日時	2017年1月15日(日) 14時30分開演
会場	東京文化会館小ホール
曲目	G.Ph. テレマン：「食卓の音楽」第3集
出演	指揮・オーボエ：延原武春 リコーダー：北山 隆 チェンバロ：中野振一郎 テレマン室内オーケストラ
来場者数	379名
備考	G.Ph. テレマンの代表作である「食卓の音楽」全3集を3年のスパンで全曲公演する企画の最終回。音楽監督である延原が自らオーボエ奏者として出演いたしました。また、リコーダーの北山隆氏やチェンバロの中野振一郎氏といった熟練のメンバーも登場いたしました。



マンスリーコンサート Monthly Concert

第469回マンスリーコンサート 理論と形式—変化し続ける バロックのモードを、独特の視点で切り取る！ ウッラ・ブンディースの「バロック」

日時	2016年4月19日(火) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	A. コレリ 四声のためのソナタ ト短調 WoO2 合奏協奏曲 ハ短調 op.1-2 T. アルビノーニ 五声のソナタ 第6番 ト短調 op.2-11 J.G. ゴルトベルク 四声のソナタ ハ短調 F. ジェミニアーニ 合奏協奏曲 第12番 二短調 G.F. ヘンデル 合奏協奏曲 二長調 op.6-5 HWV323
出演	バロック・ヴァイオリン：ウッラ・ブンディース ディレクター：延原武春 テレマン・アンサンブル
来場者数 備考	181名 首席客演コンサートマスターである U. ブンディース氏を招いての公演。ブンディース氏の選曲で、ドイツでは一般的ながら、日本ではまだまだ珍しい曲ばかりの公演となりました。

第471回マンスリーコンサート フランス語で歌うシャンソン Vol.8 Fête de la musique a OSAKA Vol.3

日時	2016年6月21日(火) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	第1部 J.B. サン=ジョルジュ：弦楽四重奏曲 op.1-5 B. ゴダール：弦楽四重奏曲 第3番 第1楽章 第2部 「アイドルを探せ」「夢の中に君がいる」 「シェリーに口づけ」「いつ帰って来るの」 「セ・シ・ボン」「パリに帰って」「ロマンス」 「ラストダンスは私と」「ラ・メール」「雪が降る」 「枯葉」「雪の下の春」「さくらんぼの実るころ」 【ピアフ生誕100年記念コーナー】 「水に流して」「愛の賛歌」
出演	ヴォーカル：梨里香・永海孝 指揮：延原武春 ストップ in KOBE ピアノ：高岡正人 ベース：堺 重幸 ドラムス：山下嘉範 テレマン・アンサンブル 司会：今井由美
来場者数 備考	237名 毎年恒例となったシャンソンの公演。前半には 仏古典派と近代の弦楽四重奏曲を演奏しました。



第470回マンスリーコンサート 森本英希&テレマン・アンサンブルによる テレマンの真相、再発見

日時	2016年5月13日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン フルート協奏曲 ト長調 TWV51:G2 トリオ・ソナタ ニ短調 TWV42:d4 ヴァイオリン、フルート、オーボエと通奏低音 のための協奏曲 TWV43:G6 トリオ・ソナタ 変ロ長調 TWV42:B7 リコーダー・ソナタ ハ短調 (ハラッハソナタ) リコーダー協奏曲 ト短調 (ハラッハ協奏曲)
出演	フルート・リコーダー：森本英希 オーボエ・ディレクター：延原武春 テレマン・アンサンブル
来場者数 備考	193名 テレマン室内オーケストラ首席フルート奏者であり、テレマンの研究者でもある森本英希のプロデュースによる公演。近年「新しく」発見された作品を含む、貴重な公演となりました。

第472回マンスリーコンサート テレマン・シニアクラス！

日時	2016年8月5日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	G. サンマルティニー リコーダー協奏曲 ヘ長調 G.Ph. テレマン 四重奏曲 ホ短調 TWV43:e4 J.J. クヴァンツ トリオ・ソナタ ハ短調 QV2:Anh5 G.Ph. テレマン トリオ・ソナタ イ短調 TWV42:a6 A. ヴィヴァルディ チェロ・ソナタ 第3番 イ短調 RV43 G.Ph. テレマン リコーダー協奏曲 ヘ長調 TWV51:F1
出演	リコーダー：北山 隆 オーボエ：延原武春 チェロ：上塚憲一 テレマン・アンサンブル
来場者数 備考	304名 北山隆氏など、熟練のメンバーを招いての公演で、 300人を超える動員となりました。

第473回マンスリーコンサート
G.Ph. テレマン「音楽の練習帳」より ソナタのタベ

日時	2016年9月16日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン トリオ・ソナタ ニ長調 TWV42:D9 チェロ・ソナタ ニ長調 TWV41:D6 トリオ・ソナタ ト短調 TWV42:g5 ヴァイオリン・ソナタ ヘ長調 TWV41:F4 ヴィオラ・ソナタ ホ短調 TWV41:e5 ヴァイオリン・ソナタ イ長調 TWV41:A6 オーボエとチェンバロのためのソナタ 変ホ長調 TWV42:Es3
出演	オーボエ・ディレクター：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 ヴィオラ：姜 隆光 チェロ：曾田 健 コントラバス：橋本将紀 チェンバロ：高田泰治
来場者数	196名
備考	テレマン・アンサンブルのメンバーが順にテレマンのソナタを演奏いたしました。



第475回マンスリーコンサート 【CD発売記念公演】
高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲

日時	2016年12月5日(月) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	J.S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻より第1番 プレリュードとフーガ ヘ長調 BWV846 ゴルトベルク変奏曲 BWV988
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	194名
備考	高田泰治によるチェンバロ・リサイタル。J.S. バッハのゴルトベルク変奏曲を取り上げました。この曲は1時間以上ある大曲で、一度演奏を始めてしまうと切れ目がなく、遅れて到着されたお客様が入れなくなってしまうため、1曲目には短い小品を演奏いたしました。高田はこの曲を毎年12月に演奏しておりますが、演奏会の度に新たな気持ちで練習に取り組んでおりますので、毎回前回とは違う「表情」があります。同時期に発売となった同じ内容のCD 発売記念公演となりました。



第474回マンスリーコンサート
クラシカル楽器で聴くモーツァルト

日時	2016年11月18日(金) 19時開演
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	W.A. モーツァルト ディヴェルティメント 変ロ長調 Kv137 ピアノ協奏曲 第11番 ヘ長調 Kv413 ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 Kv454 ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 Kv452
出演	オーボエ・ディレクター：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 クラリネット：李 胎蓮 ホルン：中村一男 ファゴット：淡島宏枝 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン・アンサンブル
来場者数	239名
備考	クラシカル楽器で聴く、オール・モーツァルト・プログラムの公演。ピアノと管楽のための五重奏曲では音楽監督の延原自身がオーボエを演奏いたしました。マンスリーコンサートには珍しく管楽器が登場した上、ヴァイオリン・ソナタからピアノ協奏曲まで、多彩な内容の公演となりました。



第476回マンスリーコンサート 18世紀の演奏会形式による
テレマンのニューイヤーコンサート2017

日時	2017年1月13日(金) 19時開演
会場	大阪俱樂部4階ホール
曲目	W.A. モーツァルト ディヴェルティメント ニ長調 Kv334 (第1楽章のみ) 「ドン・ジョヴァンニ」～《彼女こそわたしの宝》 「コジ・ファン・トゥッテ」～《恋のそよ風》 音楽の冗談 Kv522 カンツォーネ・コーナー 「サンタ・ルチア」「遙かなるサンタルチア」 「オー・ソレ・ミオ」「フニクリ・フニクラ」 「パッシオーネ」「カタリ・カタリ」 W.A. モーツァルト ディヴェルティメント Kv334 ニ長調 (第2～第6楽章)
出演	指揮：延原武春 テノール：鹿岡晃紀 テレマン・アンサンブル
来場者数	186名
備考	1曲のディヴェルティメントの間に様々な曲を挟み込むという、18世紀スタイルの公演。テレマン室内合唱団テノールの鹿岡晃紀によるオペラ・アリアやカンツォーネの他、モーツァルトが二流作曲家を風刺した「音楽の冗談」など、新年を飾るにふさわしい華やかな内容でした。

第477回マンスリーコンサート
「古き良きアメリカ」～音の遺産と伝承 Vol.2～

日時	2017年2月14日(火) 19時開演
会場	大阪俱樂部4階ホール
曲目	第1部 L. アンダーソン 「Fiddle-Fiddle」、「Jazz Pizzicato」 「The Waltzing Cat」 G. ガーシュウィン：子守歌 第2部 「S'Wonderful」「The man I love」「All of Me」 「Someone to Watch Over Me」「Mona Lisa」 「But Not For Me」「Summertime」「Stardust」 「My Funny Valentine」「Let me try again」 「Embraceable You」「I've Got You Under My Skin」 「I Left My Heart in San Francisco」
出演	ヴォーカル：原田紀子・永海孝 指揮：延原武春 ストンプ in KOBE ピアノ：高岡正人 ベース：堺 重幸 ドラムス：山下嘉範 テレマン・アンサンブル 司会：今井由美
来場者数	241名
備考	毎年恒例となったジャズの公演。前半にはL. アンダーソンなどの曲を演奏しました。

マンスリーコンサート特別公演

会員の皆様からの長年のご期待にお応えし 「バッハ 無伴奏のタベ」	
日時	2017年2月28日(火) 19時開演
会場	大阪俱樂部4階ホール
曲目	J.S. バッハ 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 無伴奏ヴィオラ組曲 第2番 ニ短調 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト短調
出演	ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 ヴィオラ：姜 隆光 チェロ：曾田 健
来場者数	203名
備考	テレマン・アンサンブルの首席奏者によるバッハ無伴奏曲の公演。首席チェロ奏者の曾田健はバロック楽器を使用し、それ以外のメンバーはモダン楽器を使用いたしました。バッハの無伴奏の演奏会は、単独の奏者による公演が大半を占め、今回のように、複数の奏者が交代で演奏することは非常に稀です。 後援会会員の皆様からの長年のご要望もあり、実現した公演です。

第478回マンスリーコンサート
平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門 受賞記念
高田泰治・リサイタル

日時	2017年3月7日(火) 19時開演
会場	大阪俱樂部4階ホール
曲目	J.S. バッハ プレリュードとフーガ イ短調 BWV894 イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV971 半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903 W.A. モーツァルト 幻想曲 ニ短調 Kv397/385g ロンド ニ長調 Kv485 ロンド イ短調 Kv511 ソナタ 第9番 ニ長調 Kv311/284c
出演	チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治
来場者数	195名
備考	高田泰治が平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞したことを記念したリサイタル。受賞式が2月27日に中央公会堂大集会室で開催され、その直後の開催となりました。公演ではチェンバロとフォルテピアノの両方を使用し、それぞれバッハとモーツァルトの作品を取り上げました。ロビーにて賞状と楯を展示し、ご来場の皆様にご覧いただきました。



教会音楽シリーズ Church Concert

第182回教会音楽シリーズ

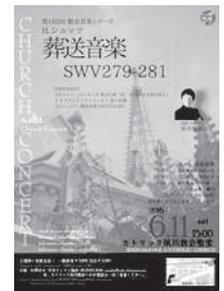
H. シュッツ 葬送音楽 SWV279-281	
日時	2016年6月11日(土) 15時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	H. シュッツ：音楽による葬送 第1部 《裸で私は母の胎から出た》SWV279 第2部 《主よ、あなたさえ私にあれば》SWV280 第3部 《主よ、今こそあなたはこのしもべを》SWV281
出演	F. ドウランテ：マニフィカト 変ロ長調 J.S. バッハ カンタータ「来たれ汝、甘き死の時よ」BWV161 指揮・テノール：新井俊稀 ミュージック・ディレクター：延原武春 ソプラノ：浅野純加・渡辺有香 アルト：伊豆田佑香・葉谷佳苗 テノール：小川 歩・後久義昭・田中伸一 バス：林 康宏・塩谷宗広 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	223名 合唱団アシスタント・コンダクター新井俊稀のプロデュースによる公演。シュッツやドウランテといった珍しい作曲家の作品を取り上げました。

第184回教会音楽シリーズ

J.S. バッハ ヨハネ受難曲 BWV245	
日時	2017年3月18日(土) 18時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S. バッハ：ヨハネ受難曲 BWV245
出演	指揮：延原武春 福音史家：鹿岡晃紀 イエス：高曲伸和 ソプラノ：渡辺有香 カウンターテノール：上杉清仁 テノール：小川 歩 バス：林 康宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	285名 バッハの代表作「ヨハネ受難曲」を取り上げました。ソリストにはテノールの鹿岡やバスの高曲といった若手の合唱団員を起用し、アルトには東京からカウンター・テノールの上杉清仁氏を招きました。楽団にはリユートとヴィオラ・ダ・ガンバが加わりました。本格的な受難曲の演奏ということで、教会の信者の方にも多数ご来場いただき、厳粛な雰囲気での演奏となりました。

第183回教会音楽シリーズ

J.S. バッハ クリスマス・オラトリオ	
日時	2016年12月26日(月) 18時30分開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	H. シュッツ クリスマス・オラトリオ SWV435 J.S. バッハ クリスマス・オラトリオ BWV248
出演	指揮：延原武春・新井俊稀 ソプラノ：渡辺有香・高津綾子 井塚有子・岩崎ひかる アルト：伊豆田佑香・松崎恵理子 塩見典子・三好久美子 テノール：新井俊稀・鹿岡晃紀 小川歩・田中伸一・後久義昭 バス：篠部信宏・林康宏・安藤直人 松井義知・塩谷宗広 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	321名 毎年恒例のクリスマス・オラトリオの公演。前半にはアシスタント・コンダクター新井の指揮でシュッツのクリスマス・オラトリオを演奏。



その他の主催公演 Other Concerts

浅井咲乃リサイタル (ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ 全曲公演 (全3回))

日時	2016年 7月29日(金) 19時開演
	2016年 11月25日(金) 19時開演
	2017年 3月24日(金) 19時開演
会場	東梅田教会

高田泰治リサイタル

日時	2016年11月20日(日) 15時開演
会場	稲畑ホール

阪神淡路大震災追悼音楽ミサ

日時	2017年 1月17日(火) 18時開演
会場	カトリック神戸中央教会

東日本大震災復興祈念コンサート

日時	2017年 3月11日(土) 15時開演
会場	いずみホール

協奏曲の愉しみ

日時	2017年 3月15日(水) 18時30分開演
会場	いずみホール

依頼公演 について

自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を89公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス（大阪市／ザ・シンフォニーホール）」、「三宝音楽コンサート（川西市）」、「JVC国際協力コンサート（大阪市／いざみホール）」、「ベガメサイア（宝塚市／ベガホール）」、「アバンザ・ランチタイム・コンサート（大阪市／堂島アバンザ）」や「バロックコンサート（池田市／池田市民文化会館）」、「テレマンのバ

ロックの宴（伊丹市／旧岡田家住宅・酒蔵）」、「学園前公演（奈良市／学園前ホール）」、「テレマンコンサート in 中崎公会堂（明石市／中崎公会堂）」、「ティータイムコンサート（高槻市／高槻現代劇場）」、「ロマンチック・コンサート（堺市／御池台こども園）」などとなっており、平成28年度には新たに（公財）伊賀市文化都市協会や（公財）堺市文化振興財団などからのご依頼がありました。

内容としては、高田泰治のソロリサイタルから5～6名の室内楽、合唱団と楽団併せて100名程度のものまで多岐にわたり、後期バロックから古典派を中心に、幅広いコンテンツを提供致しました。



依頼公演の分布（月別）

依頼公演	(主催公演)
4月 7公演	(3公演)
5月 7公演	(1公演)
6月 6公演	(2公演)
7月 6公演	(3公演)
8月 3公演	(1公演)
9月 11公演	(1公演)
10月 22公演	(1公演)
11月 8公演	(5公演)
12月 9公演	(3公演)
(2017年)	
1月 2公演	(3公演)
2月 5公演	(2公演)
3月 3公演	(5公演)
合計 89公演	(30公演)

依頼公演の分布（地域別）

北海道	石川県	岡山県
青森県	福井県	広島県
岩手県	山梨県	山口県
宮城県	長野県	徳島県
秋田県	岐阜県 6公演	香川県
山形県	静岡県 4公演	愛媛県
福島県	愛知県 7公演	高知県
茨城県	三重県 5公演	福岡県
栃木県	滋賀県	佐賀県
群馬県	京都府 5公演	長崎県
埼玉県	大阪府 28公演	熊本県
千葉県	兵庫県 18公演	大分県
東京都	奈良県 3公演	宮崎県
神奈川県 10公演	和歌山県	鹿児島県
新潟県	鳥取県	沖縄県
富山県	島根県	クルーズ 3公演

学校公演 について

依頼公演のうち、30公演は学校を対象とした公演でした。そのうち、文化庁の平成28年度文化芸術による子供の育成事業一巡回公演事業（以後「文化庁巡回公演」）は26公演（13校）あり、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県の学校にて公演いたしました。文化庁巡回公演は鑑賞だけではなく「体験」にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては「共演」のプログラムを用意し、事前にワークショップを開催しております。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を中心に構成し、鑑賞する児童・生徒に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的

◎巡回公演事業とは

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演

には短い曲が多い構成となっておりますが、プログラムの最後にはJ.S. バッハ作曲「管弦楽組曲 第3番」を全て聴くようになっており、「少し長い曲もきちんと全曲聴く」ということを学べるような構成となっております。また、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しております。（右写真）
その他の学校公演につきましては、学校様のご要望を取り入れつつ演奏内容を決定しておりますが、主にヴィヴァルディ作曲「四季」全曲等が主なプログラムとなっております。

をより効果的なものとする事ができます。普段授業などで使っている体育館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。

（文化芸術による子供の育成事業ホームページより）



文化庁巡回公演の日程

【ワークショップ】

- 7月 4日（月） 相模原市立由野台中学校
- 7月 5日（火） 横浜市立汐入小学校
- 7月 6日（水） 伊勢原市立大田小学校
- 7月 8日（金） 名古屋市立鳥羽見小学校
- 9月 14日（水） 川崎市立今井小学校
- 9月 15日（木） 三浦市立岬陽小学校
- 10月 3日（月） 牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校
- 10月 5日（水） 西伊豆町立田子小学校
- 10月 6日（木） 瀬戸市立下品野小学校
- 10月 7日（金） 南知多町立師崎中学校
- 10月 11日（火） 瑞穂市立穂積小学校
- 10月 12日（水） 郡上市立牛道小学校
- 10月 13日（木） 関市立武儀西小学校

【本公演】

- 9月 26日（月） 相模原市立由野台中学校
- 9月 27日（火） 横浜市立汐入小学校
- 9月 28日（水） 川崎市立今井小学校
- 9月 29日（木） 伊勢原市立大田小学校
- 9月 30日（金） 三浦市立岬陽小学校
- 10月 17日（月） 南知多町立師崎中学校
- 10月 18日（火） 西伊豆町立田子小学校
- 10月 19日（水） 牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校
- 10月 20日（木） 瀬戸市立下品野小学校
- 10月 25日（火） 瑞穂市立穂積小学校
- 10月 26日（水） 郡上市立牛道小学校
- 10月 27日（木） 関市立武儀西小学校
- 10月 28日（金） 名古屋市立鳥羽見小学校

広報活動 について

定期演奏会の入場者数は概ね450名程度、マンスリーコンサートは180名程度、教会音楽シリーズは300名程度となっておりますが、会場のキャパシティはそれぞれ1～2割増でも対応可能となりますので、収益基盤の充実に向けて、主な顧客層である60歳代～70歳代以外の顧客層を開拓するために、新たな広報活動を実施いたしました。まず、公演に対するイメージを想起させやすい動画を作成し、Youtubeにアップ

ロードしたものをホームページのトップページやFacebookで配信致しました。また、Facebookでは通常の投稿だけではなく、ユーザーの年齢や興味の対象でターゲットを絞った有料広告も実施いたしました。さらに、年代層に合わせて、既存の60歳代～70歳代は従来通りの紙媒体（チラシなど）、40歳代～50歳代はFacebook、20歳代～30歳代はInstagram、総括的にTwitterといったすみ分けをし、広報を実施いたしまし

た。効果は開始段階から徐々に伸びており、結果、集客は前年度から微増いたしました。回を経る毎に効果は少しずつではあるものの増加しており、継続することでより大きな効果を得られることが予想されますので、次年度も継続して同じ手法を取ることを検討しております。



実際の Facebook 広告

社会的活動 について

レイクパピルスの使用

2016年度も当協会は主催公演の印刷物などにレイクパピルスを使用いたしました。2016年度に浄化で来た湖水の量は以下の通りとなっております。

1：プログラムの使用
(一部につき400リットルを浄化)
マンスリーコンサート：11回
定期演奏会：9回
合計：7,000部
浄化量：2,800,000リットル

2：チラシの使用
(一部につき200リットルを浄化)
マンスリーコンサート：9回
合計：9,000部
浄化量：1,800,000リットル

3：その他印刷物
2015年度社会的活動報告の表紙
(一部につき200リットルを浄化)
使用量：600部
浄化量：120,000リットル

合計で4,492トンの水を浄化したという計算になります。



(参考：レイクパピルスのロゴマーク)

ボルネオの森保全プロジェクト

2016年度もサラヤ(株)様との協働で定期演奏会のチケット収入の1パーセントをボルネオ・トラスト・ジャパンに寄付。寄付金額は35,000円。たまたみ175畳分の森を保全することが出来ました。



ボルネオ保全トラストジャパンからの感謝状

チャリティー協力

日本テレマン協会はこれまで阪神大震災やニューオーリンズのハリケーン、JR福知山線脱線事故メモリアルコンサートのほか、様々な災害へのチャリティーコンサート活動を続けてきました。クラシック音楽のコンサートに対する社会の受け入れ方が年々変化しつつある中で、人と人をつなぐ場であるという理念を協会としては今後も大切にしていこうという意味で、「チャリティーコンサート」への参加を積極的にすすめていく方針です。

2016年度のチャリティー協力は以下の通りとなっております。

- 1：ボルネオの環境保全活動
- 2：マンスリーコンサートにおけるユニセフ募金活動への協力
- 3：チャリティーコンサートへの出演
 - ・KBH 支援のためのチャリティーコンサート Vol.7
「聖堂に響くバッハ」
日時：2016年5月8日(日)
会場：カトリック神戸中央教会
 - ・JVC 国際協力コンサート2016 第23回大阪公演
日時：2016年12月3日(土)
会場：いずみホール
 - ・阪神淡路大震災追悼音楽ミサ
G.フォーレ レクイエム
日時：2017年1月17日(火)
会場：カトリック神戸中央教会

『上方の生活文化を感じる一日「上方の生活文化」』を考えるシンポジウムへの出演

2017年2月8日、内閣官房オリピック・パラリンピック推進本部事業局の委託により開催された、大阪くらしの今昔館主催(協力:大阪ガス・エネルギー文化研究所)『上方の生活文化』を考えるシンポジウム』に大阪ガス(株)様のご紹介により出演し、クラシック音楽を通しての日本と海外の交流の流れや、ク

ラシック音楽普及の歴史等について、お話を交えながら演奏させていただきました。豊臣秀吉が3度アンコールしたと言われるジョスカン・デプレ作曲「千々の悲しみ」や、クライスラーが中央公会堂でのリサイタルで演奏した「愛のよろこび」のほか、カンツォーネなどを披露いたしました。



年表

1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞 (以後 72 と 82)

1968

マンスリーコンサートスタート (会場は津村別院)

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体
「大阪テレマン協会」となる。

1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞 (以後 75 と 76)

1975

大阪府民劇場賞 (以後 85)

1977

文化庁芸術祭優秀賞 (関西より初受賞)
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭”に出演)
サントリー音楽賞 (関西より初受賞)

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン
デビュー公演を実現。
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ
も 100 回記念演奏会を行う。
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアー
ズ各都市で公演を行う。

1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が
発足。サイモン・スタンデイジや中野振一郎主導のもとで、
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦
初演・世界初演を行う。
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊 (～ 03)

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデ
ル作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ
演奏旅行。

2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講談師・旭堂南左衛門
が共演。
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活
動に着手。
小説「延原武春」(作：中野順哉)が東方出版より出版。

【CD】

デンオン制作「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」
リリース。

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション
「音楽絵巻」がスタート。
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。

【CD】

マイスター・ミュージック制作「ラ・フォリア」リリース。

【CD】

「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」リリース。

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツへ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ 2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」の復元後、世界初演を行う。

(CD)

ライブノーツ制作「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」リリース。

2004

【CD】

「星に願いを」リリース。

2007

ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008

協会創立 45 周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価され CD に。

(CD)

「テレマン作品集② 7 つのトリオ・ソナタ」リリース。

2009

【CD】

「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～11)

延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。

延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。

「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010

延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011

コレギウム・ムジクム・テレマン解散。

「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第 4 番を演奏。

【CD】

オクタヴィアレコード制作「ブラームス：交響曲第 1 番」リリース。

【CD】

ライブノーツ制作「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」リリース。

ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012

延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。

【CD】

「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第 4 番』リリース。(「レコード芸術」特薦盤)

【CD】

「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」リリース。創立 50 周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013

【CD】

「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6 つのソナタ」リリース。

Orchestra Japan 2011 を再結成し、3 月 11 日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014

ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。

大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015

【CD】

ライブノーツ制作「高田泰治 モーツァルト・アルバム」、
「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ」リリース。

中野、シンポジウム「18 歳の選挙権で『機嫌よう暮らす』を考える」を関西領事団とともに開催。

2016

【CD】

ライブノーツ制作「高田泰治 うつろい」、「高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲」をリリース。

高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。

延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017

高田泰治が平成 28 年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。

【CD】

ライブノーツ制作「U. ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」をリリース。

定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

日本テレマン協会 後援会について

1980年、故鈴木剛氏(元住友銀行頭取)が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

役員名簿

会 長	尾崎 裕 (大阪ガス)	特別顧問	野村明雄 (大阪ガス)
副 会 長	古河久人 (住友生命保険) 脇阪聰史 (朝日放送)	顧 問	井戸敏三 (兵庫県知事) 荒井正吾 (奈良県知事) 久元喜造 (神戸市長)
理 事	福田里香 (パナソニック) 原 真一 (コーナン建設) 北山 隆 (大阪音楽大学名誉教授) 宮島登美子 (TMS) 小野敏夫 (クラシック音楽興隆会) 室町鐘緒 (三菱東京 UFJ 銀行) 山口昌紀 (近畿日本鉄道) 時政幸雄 (関西電力) 井上礼之 (ダイキン工業) 森川敏雄 (三井住友銀行) 佐野吉彦 (安井建築設計事務所) 入谷泰生 (日本クルーズ客船) 鳥井信吾 (サントリーホールディングス) 吉田有宏 (千寿製菓) 杉浦 正 (共和コーポレーション) 川崎益彦 (桜宮ゴルフクラブ)		アレン・グリーンバーグ (アメリカ総領事) ヴェルナー・ケーラー (ドイツ総領事) ジャン＝マチュー・ボネル (フランス総領事) ローデリック・ウォルス (オランダ総領事) リャボフ・オレグ (ロシア総領事) マルコ・ロンバルディ (イタリア総領事) クリストフ・ドゥ・パッソンピエール (ベルギー大使館公使参事官) チャン・ドゥック・ビン (ベトナム総領事) ドゥシット・メーナパン (タイ総領事) 河 泰允 (駐大阪大韓民国総領事) 陳 舜臣 (作家) 多川俊映 (興福寺貫首) 鶴澤寛治 (人間国宝 三味線奏者) ロニー・アレキサンダー (神戸大学大学院教授) 池長 潤 (カトリック大司教) 千 宗守 (武者小路千家家元) 高口恭行 (一心寺長老) 小野善康 (経済学者) 阿部牧郎 (作家) 高木慶子 (上智大学グリーンケア研究所) 前田万葉 (カトリック大阪大司教)
監 事	稲畑勝太郎 (稲畑産業) 陳 英智 (三洋実業)		

年表

1980s	1991
1980 5月発足。第1回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。	故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第3代目の会長に就任。
1982 3月、理事会にて顧問の設置が承認され、11月には顧問が決定。 12月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第2代目の会長に就任。	1997 7月、大西正文氏が第4代目の会長に就任。
1990s	2000s
1990 10月、原清氏急逝。	2007 7月、野村明雄氏が第5代目の会長に就任。
	2010s
	2016 7月、尾崎裕氏が第6代目の会長に就任。

法人会員

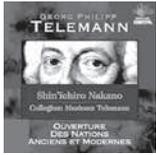
朝日放送株式会社	中井エンジニアリング株式会社	株式会社 S B J 銀行大阪支店
稲畑産業株式会社	関西テレビ放送株式会社	非破壊検査株式会社
株式会社エンボウ	株式会社ロイヤルホテル	日鉄住金パブリックライン & エンジニアリング株式会社
大阪ガス株式会社	今津建設株式会社	株式会社
関西電力株式会社	J F E エンジニアリング株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
コーナン建設株式会社	株式会社きんでん	株式会社カネカ
サントリーホールディングス株式会社	矢崎エジソンシステム株式会社 大阪支店	読売新聞大阪本社
株式会社三菱東京 U F J 銀行	三幸メリヤス株式会社	株式会社りそな銀行
株式会社三井住友銀行	千寿製薬株式会社	株式会社公益社
住友生命保険相互会社	三菱電機株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
ダイキン工業株式会社	医療法人中野クリニック	株式会社帝国ホテル
株式会社竹中工務店	有限会社神戸楽譜	トヨタ L & F 近畿株式会社
株式会社丹陽商会	J F E スチール株式会社	株式会社芝川本店
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	株式会社安井建築設計事務所	株式会社ウエノテクノロジー
パナソニック株式会社	日本クルーズ客船株式会社	株式会社電通
ロックペイント株式会社	桜宮ゴルフクラブ株式会社	中西金属工業株式会社
株式会社大丸松坂屋百貨店	医療法人 友仁会 浅井整形外科	鴻池運輸株式会社
日本生命保険相互会社	阪急電鉄株式会社	シンプルライフ 2 1
東京海上日動火災保険株式会社	江崎グリーコ株式会社	U C C ホールディングス株式会社
株式会社大林組 大阪本店	株式会社共和コーポレーション	東京ガス株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社	株式会社アークエース	西部ガス株式会社 東京事務所
学校法人からたち幼稚園	情報技術開発株式会社	東邦ガス株式会社
日本郵船株式会社 エネルギー輸送本部	株式会社白松	大阪ガス株式会社 東京支社
新コスモス電機株式会社	株式会社データコントロール	フルライン株式会社
讀賣テレビ放送株式会社	産経新聞社	匿名 1 社
株式会社博報堂関西支社	財団法人職業技能振興会	
愛知時計電機株式会社大阪支店	住まいの情報 三宝商会	
株式会社 I H I 関西支社	南海電気鉄道株式会社	
株式会社大広	大和ハウス工業株式会社	

個人会員

塩田 邦博	小林 誠	浜辺 正昭	杉浦 正	中西 守	福居 誠二	竹澤代資一
阿部 牧郎	南 茂夫	越田 重雄	廣川 信一	竹田 忠士	家辺 孝司	小野 久恵
川岸 弘賢	高田 満國	三好 具子	中川 淳一	津田 直樹	松田 憲二	中島久仁子
藤田 直照	高橋 香	岩田 由孝	重森 哲二	岡本 好平	和田誠一郎	小野 敏夫
小島百合子	松本 好史	石村 孝夫	宮本 敏子	廣瀬 隆平	伊藤 康夫	田中 佐代
小川 寛	角南 忠昭	直田 春夫	和久 公子	酒井 俊幸	佐藤 晴彦	梶原 健司
高 仁宝	延 秀恵	里見 悦子	黒田 千之	土井 英一	山西 昭夫	匿名 2 2 名
浅沼 健一	延 敏恵	大西 國忠	堀 則明	三宅 成典	David Jack	
北浦 告三	大西 淑子	吉田 好道	松倉 孝夫	三田 潤作	清水 淳彦	
橋本 依子	仲窪菜穂子	米沢 康	松倉 英子	田中 正恒	松本 哲生	

〈敬称略・順不同〉

日本テレマン協会ディスコグラフィー Discography



- テレマン作品集1
WWCC-7406
ディレクター：中野振一郎
コレギウム・ムジクム・テレマン



- バロック・オーボエ協奏曲名曲集
WWCC-7432
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



- 心のオーボエ
WWCC-7478
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



- 100人の第九
WWCC-7543
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ



- テレマン作品集2
WWCC-7567
オーボエ：延原武春
リコーダー：北山 隆



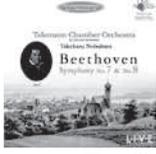
- ベートーヴェン
交響曲第1番, 第2番
WWCC-7610
(クラシカル楽器使用)



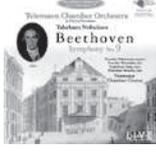
- ベートーヴェン
交響曲第3番「英雄」, 交響曲第4番
WWCC-7622
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第5番「運命」, 交響曲第6番「田園」
WWCC-7629
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第7番, 交響曲第8番
WWCC-7639
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第9番「合唱付」
WWCC-7658
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
「合唱幻想曲」 & 「ミサ曲 ハ長調」
WWCC-7667
(クラシカル楽器使用)



- 高田泰治 チェンバロ・アルバム vol.1
WWCC-7684
J.S. バッハ：パルティータ 第2番
イギリス組曲 第2番 ほか



- マーラー 亡き児を偲ぶ歌, 交響曲第4番ト長調
WWCC-7695-6 (2枚組)
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



- ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」
WWCC-7706
ヴァイオリン：浅井咲乃



- バッハ 6つのソナタ
WWCC-7715-6 (2枚組)
ヴァイオリン：U. プンディース
チェンバロ：高田泰治



- 浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」
WWCC-7758
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」
J. マスネ：タイスの瞑想曲 ほか



- ブラームス：ドイツ・レクイエム
WWCC-7778
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



- モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ
WWCC-7783
ヴァイオリン：U. プンディース
フォルテピアノ：高田泰治



- モーツァルト・アルバム
WWCC-7788
フォルテピアノ：高田泰治
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第14番 ほか



- うつろい
WWCC-7802
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ ほか



- J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲
WWCC-7823
チェンバロ：高田泰治



- 古典派二重奏曲の系譜
WWCC-7832
ヴァイオリン：U. プンディース
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治

2016年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曽根崎新地2丁目1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>

